

那覇 国際通りmap



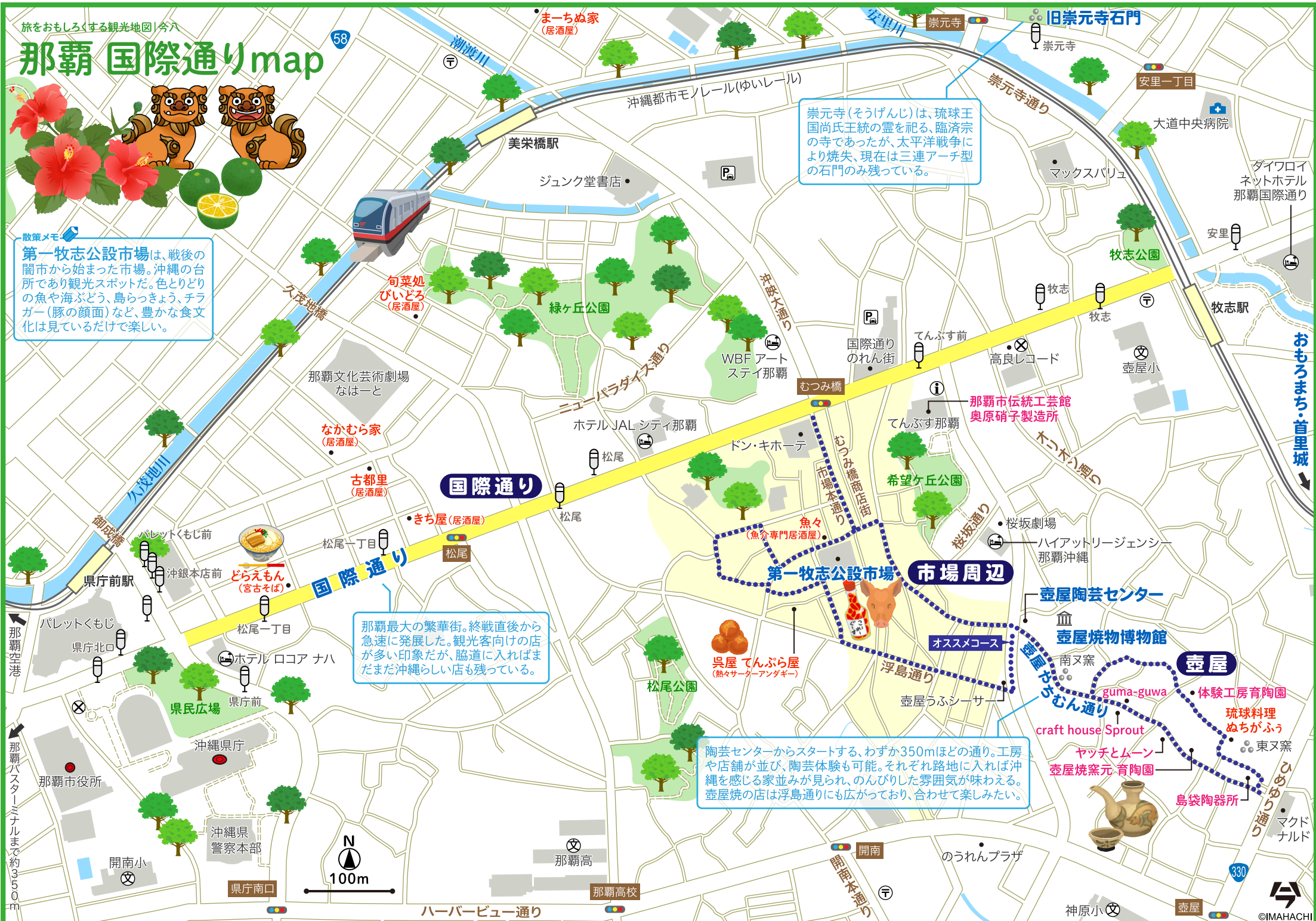
散策メモ

第一牧志公設市場は、戦後の蘭市から始まった市場。沖縄の台所であり観光スポットだ。色とりどりの魚や海ぶどう、鳥らっきょう、チラガー(豚の顔面)など、豊かな食文化は見ているだけで楽しい。

那覇最大の繁華街。終戦直後から急速に発展した。観光客向けの店が多い印象だが、脇道に入ればまだまだ沖縄らしい店が残っている。

崇元寺(そうげんじ)は、琉球王国尚氏王統の霊を祀る、臨済宗の寺であったが、太平洋戦争により焼失、現在は三連アーチ型の石門のみ残っている。

陶芸センターからスタートする、わずか350mほどの通り。工房や店舗が並び、陶芸体験も可能。それぞれ路地に入れば沖縄を感じる家並みが見られ、のんびりした雰囲気味わえる。壺屋焼の店は浮島通りにも広がっており、合わせて楽しみたい。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平 30 情使、第 853 号)



©IMAHACHI